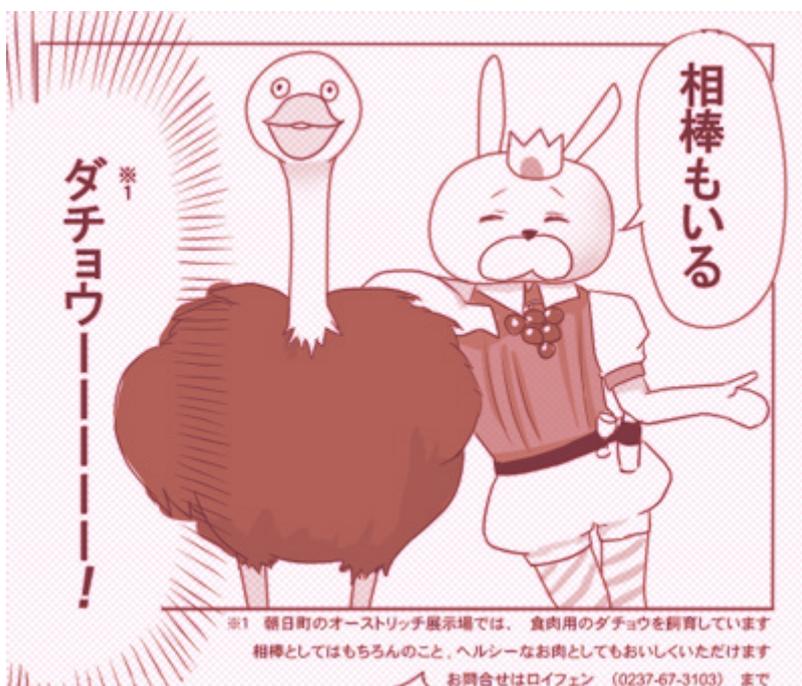


ウサヒ雪中「スキー場まつり編その2」

ウサヒ雪中「スキー場まつり編その2」

【お知らせ】

桃色ウサヒの Web マンガ 第3話後編が読めるようになりました。



桃色ウサヒの Web マンガプロジェクトは

東北芸術工科大学企画構想学科3年・松村ゼミの皆さんの協力で制作しております。

ここから本編

2月5日に行われた Asahi 自然観スキー場まつりレポートの続きです。

開会式の直後スタートした「桃色ウサヒのジャンピオン大会」。

昨年同様のジャンケン大会を期待して集まった参加者たちは、

聞きなれない「ジャンピョン」という単語に不安がよぎります。



明らかにウサビに有利そうなゲームのネーミングに不安が隠せない

まずは、司会のカワゴエさんと、中の人からルール説明。



簡単にルールを説明すると

1、カワゴエさんの「じゃん、ぴん、ポン！」掛け声と共に、

参加者は「立つ」「しゃがむ」のジャスチャーどちらかを選択。

2、ウサビのジャスチャーと同じものを選択した人が勝ち残り

という非常に簡単なルールです。



立つ



しゃがむ

参加者「なーんだ、カンタン」



フェアなルールに安心する参加者一同。

しかし、これには思った以上に巧妙な罠が仕込まれていた…

普通にゲームを行うと

ウサビの動きが緩慢なことから

全員のジェスチャーが一致することが多いのですが…



全員の座りが一致した図

しかし、そこは朝日町の「非公式」マスコット・桃色ウサビということもあり

性格の悪い「フェイント」を多用してくるのです。

(立つ振りして座ったりする)

スキー靴での参加者が多い中でフェイントを入れると、

前に倒れたり、しりもちをついたり、大変恥ずかしい思いをする。



しかも、

途中からは後ろ向きにジャスチャーをする追加ルールなどもあり



わりとあっという間に参加者は4人に絞られたのでした。

最後は残った4名がウサヒのお腹のポケット(通称:特産品ポケット)の中から

くじを引いて、1等賞から3等賞までを決めたのでした。



お腹のくじを引く

一等賞になった子には

太っ腹な Asahi 自然観から液晶テレビがプレゼントになったのです。



ちなみに、2等賞はウサビからのプレゼントで

たこ焼き機 と 電動ミキサーの「超・たこ焼き製造セット」

3等賞は自然観のウサヒマスター・小形さんの選んだ「ミニスキーセット」でした。

ウサヒの怪しげな動きを最後まで見切り、

賞品をゲットした皆さん、おめでとうございます。

その後に開かれたソリレースにもウサヒは参加。



参加者と一緒にレースするのかな・・・と思ったら

司会の小形さん「ウサヒはコースの妨害役をしてください」

ウサヒ「相変わらずのむちゃぶり・・・」

激しいレース展開の中



参加者たちがそりに乗ると……



折り返し地点

そこにはヤツがいる！！



云われるがまま、コースの障害物になるウサビ

レース参加者「うおお、すごく邪魔だよあのウサギ。」

ウサビ「ごめんなさい……」

町の人気者になる夢が、また一步遠のくのでした……

それでもみんな、わりと優しい。





労をねぎらってもらう

こうしてウサビの出番は無事終了したのです。

なお、ウサビ出番の終了後。

スタッフも雪遊びしました。



ソリの立ちのりに挑戦するカワゴエさん



新雪に飛び込む中の人



高速で滑り降りる観光協会の後藤さん

前日まで大雪に見舞われた朝日町ですが

こうやって、大人も子どもも雪を楽しめるってすごく素敵なことですね。

来年も楽しく頑張ります！

スキー場まつり編 おわり